

私の仕事観

お客様の難しいご要望に対し「できません」ではなく「できる方法」を徹底して考える——これが、当社、そして、私の仕事を貫く信念です。当社では、コンビニに特化した人材サービスを展開していますが、その大きな特徴は、自社でもコンビニを経営し、そこで教育をしたスタッフを派遣・紹介していること。「人材教育に手が回らない。何とかならないか」というコンビニ事業オーナー様の切実なご要望にお応えできる方法を徹底的に模索し、構築した独自モデルです。現在、経営しているコンビニは大阪市内に6店舗。実地でトレーニングを積んだ人材を派遣・紹介することでご支持を獲得し、某大手コンビニエンズストア本部と提携も実現しました。

難しいご要望でも「できる方法」を考える。

信念が生んだ独自のコンビニ派遣事業を推進



株式会社ファイブ・ルーツ
代表取締役社長

太田 光治

おおた みつじ

1976年、和歌山県生まれ。1994年に地元の高校を卒業後、一般企業に就職。1年勤めるがカーレーサーを夢見て上京。20代は夢を追い求め奔走するが28歳の時に人生を見つめ直し、大手人材派遣会社に転職。1年6カ月在職したが会社の体質に疑問を抱き退職。2006年10月株式会社ファイブ・ルーツを起業。作業系の人材派遣を軸にし、新たにコンビニ向けの専門人材派遣として「コンビニ派遣24」を設立。

●会社概要

大阪を中心に派遣事業部、コンビニ派遣事業部、請負適正化事業部、採用コンサルタント事業部、FC事業部を運営する総合人材サービス企業。「求人企業様、求職スタッフ様、全ての方々への満足度100%へ」という理想の「経験」と「経験を活かしきる発想」を駆使することにより実現することを企業姿勢としている。

最近思っていることあり

「多様な働き方」がテーマとなっている中、当社にできることは多様な選択肢、つまりキャリアアチェンジの機会を提供することだと思っています。当社は、コンビニ派遣と並び製造系の人材派遣を展開していますが、この分野のスタッフには、コミュニケーション等に自信がなく現状に甘んじているもの、きつかけがあれば新たな道を拓くことができる人もいます。そんな人を教育し「人と関わりあうコンビニでの仕事」というキャリアアチェンジへの扉を提供すべく事業間の連携を進めています。

未来に向かって

今や社会のインフラとも言えるコンビニ。業界は再編が進んでいます。出店自体は今後も拡大すると考えています。人材不足がより深刻化すると予測され、個店での対応では解決できず、本部による戦略的な人材獲得・育成スキームが必要になるでしょう。当社では大手コンビニエンズストア本部と提携をし、人材プールを共有し複数の店舗を横断して人材配置ができる「派遣」に「育成」という付加価値をつけたモデルをより積極的に提案していきます。

Top